

RA 東京「第 67 回 SSC 杯関東大会」に参加して

2017 年 9 月 1 日 市川鋼一

小学生年代の大会「第 67 回 SSC 杯関東大会」が 8 月 23 日、大井埠頭中央海浜公園第 1 球技場で開催され、東京都サッカー審判協会（RA 東京）から 9 名が運営協力審判として参加しました。



RA 東京審判団

8 月に入ってから 21 日間連続で降雨が記録されていましたが、この日は晴れ時々曇り、気温も上がって夏らしい天気となりました。

恒例の審判スタッフ対象の審判実技講習会も実施され、オフサイドポジションを判定する位置、ボールイン、アウト、を判定する位置を体験して、プレーを見るポジションを再確認しました。



試合は低学年、中学年、高学年の3カテゴリー。大会スタッフ審判とRA東京メンバーが審判チームを組んで試合を進めていきます。

沢山の声援のなか白熱した試合が展開され、今回も良い雰囲気の中ですべての試合が進められました。



ファールに対しては選手に理由を話してルールを理解してもらえるように努め、選手が集中してプレーでき、充実した試合になるように配慮しながら審判を行いました。グリーンカードの使用も好評であるということで積極的に使いました。



今回もスタッフ審判の皆さんは熱心。高田副会長がメキシコ、イタリアのワールドカップ2大会参加の審判と知ってか...ハーフタイムや本部テントでは皆さんからの質問、ルールの確認などがあいつぎ、高田副会長には大変多くのお話をさせていただき知識、意識が高まったのではないかと思います。



表彰式での和田副会長の総評。

「サッカーをするとみんなはどんな気持ちもちますか!？」

楽しい、悔しい...と声上がる。悔しいと思うことはとても大切、この気持ちを忘れずに練習すれば必ず上達する。悔しい気持ちが成長につながると話されました。

参加いただいた高田副会長のホイッスルから出てくる音色は優しく子どもたちに語り掛けるようなトーン、我々RA東京のメンバーも充実した活動となりました。

以上。